

2022年度 事業報告

2022年 4月 1日から 2023年 3月 31日まで

① 地域資源の発掘・保全事業

1) わっぱらんどのフィールド保全

4/24 公園びらき、7/15 草刈り、11 月公園じまい

「わっぱらんどの会」主導で公園整備を行った。

夏のイベント開催は、コロナの状況とトイレ故障中のため見送った。

2) 漬物・食文化等の継承事業

A. お菜洗いと野沢菜漬け体験 11/24 (木)、26 (土)、27 (日)

「信濃大町のつけものや」の指導で、大町温泉郷の薬師の湯の駐車場を借りて開催。

② 1) Cの子どもの体験活動事業の一環として行い、親子も 10 家族が参加した。

参加人数：大人 49 人、子ども 17 人 取扱い量：野沢菜 440 kg



B. 大糸タイムス連載「北アルプス山麓 食文化求めて」への記事提供

長嶋勇次先生主宰の料理教室「あざみ塾」を毎月取材し、レシピと写真を提供した。掲載 8 回以上。

② 地域資源を活かした、青少年の健全育成事業

1) 野外体験

A. 信州環境カレッジ学校講座を活用した市内小学生のわっぱらんど受け入れ

計 4 回 148 人を受け入れ (7/15 は雨天のため、南小で開催)

実施プログラム	日付	学校・学年	人数	スタッフ
ぬるめ調査隊	6/24 (金)	美麻小中学校 4 年生	11 人+教員 1 人	ガイド 2 名 地域振興局 3 名
ミニ水族館を作ろう！ ～ガサガサ探検隊	7/13 (水)	大町北小学校 2 年生	47 人+教員 4 人	ガイド 4 名
	7/15 (金)	大町南小学校 1 年生	46 人+教員 5 人	ガイド 4 名
	8/25 (木)	大町北小学校 1 年生	44 人+教員 3 人	ガイド 4 名



B. 小中学生のためのフォレスター養成講座（国土緑化推進機構 助成金）

2021 年度からの継続事業。2022 年度は 2 件のイベントを実施。

4/30（日）、5/4（木祝）山菜を採って味わおう 千年の森 65 人

6/19（日）竹林整備と淡竹採り体験ツアー 八坂 子ども 5 人、大人 6 人

C. 北アルプス山麓における SDGs の学び場づくりと環境保全（地球環境基金 助成金）

昨年に続き子どもの体験活動を提供しながら、学びのプログラム開発やガイド養成を行い、環境保全につながる取組みを行った。

学び・体験活動の実施：11 種類 15 回 子ども 318 名、大人 108 名、講師・ボランティア 37 名

プログラム	日付	協力団体	参加者	会場
集まれ！ライチョウ応援隊	5/21（土）	市立大町山岳博物館、 千年の森自然学校	子ども 8 大人 9	山岳博物館 千年の森
高瀬渓谷 ダムと水力発電所見学 （上田千曲高校電気科の教育旅行）	5/25（水）	国土交通省大町ダム 東京電力リニューアブルパワー NPO 地域づくり工房	上田千曲高校 2・3 年 74	大町ダム 東京電力 RP 高根川上水力
竹林整備と淡竹採り体験	6/12（日）	八坂 北澤豊繁さん	子ども 5 大人 6	八坂横瀬
鹿島川で遊ぼう （美麻小中 4 年クラスレク）	7/23（日）		子ども 12 大人 12	鹿島川
ダムの高さを歩こう （高瀬渓谷フェスティバルの中で開催）	7/30（土）	国土交通省大町ダム 北安中部漁協	子ども 8 大人 13	大町ダム
夏休み宿題片付け隊	8/2（火） 4（木）	農村女性マイスター 大糸タイムス ボランティア 13 人	子ども 68	フレンドブラ ザ大町
木崎湖カヌー体験（4 回）	8/3（水） 8（月）	大町市体育課、 B&G 海洋クラブ	子ども 65	木崎湖 B&G 艇庫
イワナの産卵床づくりと釣り体験	9/23 （金祝）	北安中部漁協	子ども 8 大人 6	コヨミ平釣り 堀センター
秋色のパレットを作ろう&焚火 体験（北小 1 年課外授業）	11/2（水）	北アルプスネイチャー ガイド	子ども 44 大人 6	わっぱらんど
お菜洗いと野沢菜漬け体験	11/24（木） 26（土） 27（日）	信濃大町のつけものや	子ども 17 大人 49	薬師の湯 駐車場
春の里山でメープルウォーターを 味わおう	3/12（日）		子ども 9 大人 7	わっぱらんど

探求プログラムの開拓：

上記を実施する中で、竹林整備、ダムと小水力、けもの道、SDGs 入門の 4 プログラムを整備した。

ガイド養成研修：「SDGs×自転車×まちづくり」を考える研修会

1/24（月）講師：中澤朋代さん（松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科准教授）

参加者：11 人



2) キャリア教育

市内中学校のキャリア教育のサポート

仁科台中学校 5/20～11/18 3年生総合「大町市の課題ドウスル? コウスル!」サポート

6/17 2年生に八十二銀行大町支店より金融リテラシー講座

6/17 3年生に仕事起こしについての講話コーディネート

6/29 3年生にSDGs入門としてワークショップ開催

9/2 2年生の職業講和の講師コーディネート

11/18 3年生の総合発表会のコメンテーターをコーディネート

八坂中学校 9/12 武蔵野五中との交流サポート

3) 中高生向け「未来をつくる起業塾 in 信濃大町」

「北アルプス Youth Entre 実行委員会」より事務局を受託。中高生向けの起業塾を6回開催。並行して地域の大人向けの勉強会も2回行った。(活動報告書参照)

③ 前項をととした仕事おこし・地域づくり事業

1) 「北アルプスさいわい便」オンラインショップの運営

この地域ならではの食品・雑貨を、期日指定で送るオンラインショップ。現在休止中。

2) アルプスあずみのセンチュリーライド (AACR) エイド運営受託

4/17 (日) 桜の AACR 国営公園大町松川エイド、青木湖エイド 提供数 700 食

国営公園：豆腐汁、大福・草餅 (たんぼぼ工房・藤長)

青木湖：往路：ネギ味噌おにぎり、野沢菜漬け&大根の醤油漬け

復路：野沢菜のおやき (幸庵)、わらび餅

5/22 (日) 緑の AACR 国営公園大町松川エイド、青木湖エイド 提供数 1,300 食

国営公園：冷麦 (赤だすき白馬製麺所)、水羊羹 (たんぼぼ工房・藤長)

青木湖：往路：ネギ味噌おにぎり、浅漬け&大根の醤油漬け

復路：餡子のおやき (幸庵)、冷奴 (Asahico)・わさび

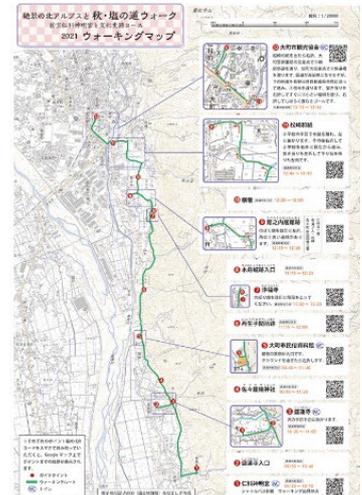
3) 北アルプス山麓グランfond 実行委員会・エイド運営

7/11 (日) 参加者 550 人、エイドスタッフ 約 60 人

白馬、鬼無里、戸隠、小川、ぼかぼか、美麻、鷹狩山、海ノ口、温泉郷の9か所のエイドを運営

4) 出版物の編集・制作

- ・北アルプス国際芸術祭記録集の編纂に参加
- ・若一王子神社：夏越の大祓式 新聞折り込みチラシのデザイン・印刷
- ・大町市観光協会：マップの微修正



④ 地域の市民活動をつなぐためのネットワーク事業

1) 市民活動のサポート・地域連携

- ・「高瀬渓谷フェスティバル」 河川協力団体として大町ダム他と共催、イベント出展協力
- ・「みんなで大糸線に乗ってみよう 2022」 大糸線を楽しむ会主催のツアーに広報協力
- ・「信州サーモンと信州大王イワナでお寿司をつくろう」
長野県北アルプス農業農村支援センター主催の事業に広報協力

2) 団体加入

大町市観光協会、大町商工会議所、大町商工会議所青年部、長野県中小企業団体中央会、地域づくりネットワーク、長野県みらい基金

3) 委員出向

大町まちづくり協議会（理事長）、定住促進協働会議（藤巻監事）、北アルプス国際芸術祭実行委員会・仁科台中学校学校運営協議会・大町市常盤公民館運営審議会・みんなで支える森林づくり北アルプス地域会議・信濃大町 100 人衆プロジェクト・長野県多面的機能支払い事業懇談会（鈴木）、みんなで支える森林づくり県民会議（小林）

4) 会議室・プリンター・備品等貸出

プリンター利用が 10 件

⑤ 地域情報の収集・発信事業

1) 地域資源のプロデュース

○ ライトアップ事業 大町市観光課主催

大町市観光課委託で、3 か所で観光ライトアップの事業を受託。

9/17～9/25 仁科神明宮、10/29～11/6 霊松寺、2/4 大町温泉郷

照明機材の設営・撤収は長野市の（株）アクテックに依頼

発電機の借用・運搬を（株）峯村組に依頼

○ 水力発電冊子の編集・制作「北アルプス山麓で学ぶ 水力発電とSDGs 水力発電の歴史と未来」

NPO 地域づくり工房との協働

大型ダムからマイクロ水力発電まで、発電のしくみ、ミニ発電所の紹介、これからのエネルギー、水力発電の歴史など オールカラー16 ページ 500 部印刷

2) SNS 等を活用した情報発信

Facebook、Twitter @GruttaNetwork、Instagram @grutta_omachi で発信

Facebook : 44 回（自転車 13、子ども 11、アントレ 5、お菜 3、カレンダー 3、他団体 3、その他 6）

Twitter : 投稿 72、リツイート 83 計 155 Instagram : 9 回

Web サイト : 15 回投稿、全体のカテゴリー構成をリニューアル、イベントレポート動画掲載

⑥ その他

- ・大町市社会福祉協議会より、
地域福祉のボランティア表彰 2/4
- ・国交省北陸地方整備局大町ダム管理所より、
河川協力団体に指定 4/13 交付式
- ・会員サービス 12 月に大糸線カレンダー
「大糸線讃歌」と近況報告を送付

